

教科	社会科	学年	第2学年	担当者	南部 博
----	-----	----	------	-----	------

【教科目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【使用教科書・教材等】

中学社会（地理的分野・歴史的分野）東京書籍、地図帳（「中学校社会科地図」帝国書院）、地理の完全学習2、歴史の完全学習2・3

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	（地理） ・世界から見た日本の自然環境 ・人口から見た日本 ・産業、資源、環境から見た日本 ・結びつきから見た日本	・世界と日本の地形や気候、災害のようすがわかる。 ・世界と日本の人口の分布や変化のようすがわかる。 ・世界と日本の産業、資源、環境の特徴がわかる。	<地理> 教科書 ノート 地図帳 <歴史> 教科書 地図帳 ノート
	（歴史） ・中世の日本 ・近世の日本	・世界各地や日本の結びつきのようすがわかる。・幕府の民衆支配や産業の発達のようすがわかる。 ・江戸幕府の海外政策の意図がわかる。 ・幕府政治の改革と農村の変化のようすがわかる。 ・元禄文化、化政文化と学問の発達のようすがわかる。	
2 学 期	（地理） ・日本の諸地域	・日本を地域区分し、それぞれの地域について、中核となる考察の仕方を基にしながら地域的特色を理解する。（北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方）	<地理> 教科書 ノート 地図帳 <歴史> 教科書 地図帳 ノート
	（歴史） ・欧米の発展とアジアの植民地化 ・近世から近代へ ・近代国家へのあゆみ ・自由民権運動と国会開設	・市民革命や産業革命を行ったヨーロッパの国々がアジアの国々に進出していったようすがわかる。 ・ペリー来航から開国していく様子とその後の幕府滅亡の過程がわかる。 ・近代的な国家をつくるためのさまざまな改革の内容の目的がわかる。 ・自由民権運動の広がり、憲法制定と国会開設の過程がわかる。	
3 学 期	（地理） ・日本の諸地域	・日本を地域区分し、それぞれの地域について、中核となる考察の仕方を基にしながら地域的特色を理解する。（中国・四国地方、九州地方）	<地理> 教科書 ノート 地図帳 <歴史> 教科書 地図帳 ノート
	（歴史） ・日清・日露戦争と東アジアの動き ・近代日本の社会と文化	・東アジアの動きを背景に日本が戦争に至るまでの動き、戦争のあらましと内外の反応、韓国の植民地化がわかる。 ・日本の産業革命と近代文化の特色がわかる。	

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	社会事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識理解
	20%	20%	20%	40%
評価の観点の趣旨	授業に臨む姿勢や家庭学習がしっかりできる。	地理的事象、歴史的事象について、その原因や理由を考へたり、どのような結果になるかを判断できる。	資料（グラフや図、史料など）を読み取ることができる。また、その内容を文章にまとめたり、発表することができる。	地理的事象、歴史的事象の基本的な用語や内容がわかる。
評価の方法	授業中の様子、ノートづくり 小テスト 提出物の状況	定期テスト部分点 授業中の発表や小テスト 提出物	定期テスト部分点 授業中の発表や小テスト 提出物	定期テスト部分点 授業中の発表や小テスト 提出物

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・授業では「覚える」以上に「考える」ことが大事です。「なぜ」「どうして」を大事にして、とことん考えながら授業に参加しよう。
- ・ノートづくりに力を入れよう。板書を写すだけでなく、説明や疑問点、イラスト、資料などを余白にどんどん書き込んでいこう。
- ・「主体的な学び」が大事です。挙手や発表を積極的に行い、授業に参加しましょう。毎時間の授業を大事にすること。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・家庭学習では「覚える」ことが大事です。予習・復習の中で、学習した内容を確実に知識として定着させましょう。
- ・定期テスト10日前には、カードやノートに大事な内容をまとめ、重要用語を覚える学習を開始しましょう。テスト直前には問題集に取り組み、実力を伸ばしましょう。
- ・新聞やニュースに親しむことによって、社会科で学習した知識に血肉が加えられ、深められます。社会科に対する興味や関心が確実にアップし、社会科の成績にもつながります。